

脱臭装置

Deodorization Device

取扱説明書

(レンタル仕様)

- ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、ご使用ください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られるところに保管し、使用に際してご活用ください。
- 万一、紛失した場合はメーカーからお取り寄せください。

目次

◆ Deodorization Device【積層型脱臭装置】30A/Cの概要	01
◆ 警告・注意	02
◆ 設置上の警告と注意	03
◆ 本体・名称と寸法	04
◆ 操作方法	05
◆ 故障かなと思ったら	07

Deodorization Device【積層型脱臭装置】

30A/Cの概要

脱臭装置(Deodorization Device)は、あらゆる臭気対策を目的に開発されました。

吸着層に充填する吸着剤の種類や量、また、処理風量などを自在に変化させることにより、多岐にわたるそれらの対策を最適な状態にコントロールしながら運転することが可能となりました。

そして機能の全てを本体に装備したパッケージ仕様となっておりますので、

設置してから運転までの工程を速やかに完結することが可能となりました。

また、キャスター装備により優れた移動性を確保しつつ、脱着可能な専用架台のON・OFFによりトラック輸送時の理想的な荷姿、積み降ろしでの安全なフォークリフト作業も可能としました。

クレーンで吊り上げる場合にも、上部に可倒式吊金具を4点装備し安全な揚重作業が行なえる設計としました。

安全で効率的な本装置をあらゆる場面でご利用されますようお願い申し上げます。

以下の取扱上の注意をお読み頂き、正しく安全な取扱をお願い致します。

装置仕様

構 成	仕 様	
性 能	最大風量	30m ³ /分
本 体	外形寸法(架台装着時)	1550×857×1020(幅×奥行き×高さ)
	外形寸法(架台非装着時)	1550×857×1002(幅×奥行き×高さ)
	重量(架台装着時)	120kg(138kg)
	材質	ボンデ調板0.8t
	揚重	可倒式吊金具(天井部4点装備)
		サヤフォーク挿入式(架台装着時)
	キャスター	自在×2個・固定×2個
	架台	脱着式
吸 着 材 充 填 層	容積	1.19m×0.73m×0.52m(0.45m ³)
	数量	2
	方式	引出し式
操 作 部	運転方式	インバータ制御運転(50Hz/60Hz共用)
		風量調整機能(マニュアル)
電 源	操作電源	主電源AC100V
	消費電力(W)	400
	消費電流(A)	4
	コンセント付電源線	2.5m(巻取り式)



警告



安全な場所に設置

近くに爆発性、引火性ガスなど、可燃物のない場所に設置してください。
爆発・発火の原因になります。



屋外設置禁止

屋外には設置しないでください。(本製品は耐水構造となっておりません)
電気系統に水がかかると感電や火災の原因になります。



電源の遮断

点検・配線作業時・長期間使用しないときは、必ず元電源を切ってください。
感電や漏電・火災・人体に重大な損傷を与える危険性があります。



有資格者に依頼

電気配線は電気工事士または電気工事店に依頼してください。



接触禁止

運転中や、電源が入ったままで運転が停止しているときは危険ですから、
製品の中に指や物を入れないでください。
突然運転し始めて手や体が巻き込まれることがあります。



警告

点検・整備を行う場合には、必ず分電盤のブレーカを切ったことを確認してから
点検・整備を行ってください。感電やケガをするおそれがあります。



改造・分解禁止

どんな場合でも、改造は絶対にしないで下さい。
分解修理は修理技術者以外の人は行わないで下さい。
火災・感電・けがの原因になります。



ぬれた手で操作をしない

感電やけがの原因になります。



アース取付け

アース工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備技術基準や内線規程に従って安全・
確実に行って下さい。故障や漏電のときに感電の原因になります。



注意



禁止

製品に異常な振動が発生した場合は使用しないで下さい。
製品・部品の落下によりけがの原因になります。

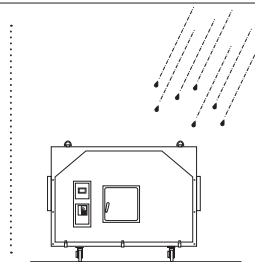


設置上の警告と注意



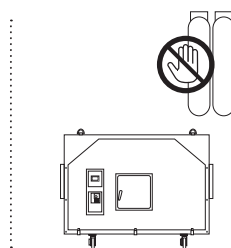
警告

雨・蒸気のあたる場所・湿度の高い場所での使用は避けてください。
製品を水につけたり、水をかけたりしないで下さい。
ショートや感電・発火の原因になります。



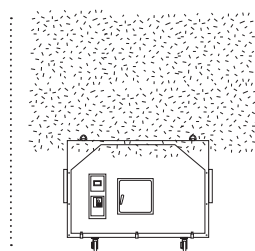
警告

近くに爆発性・引火性ガスなど、可燃物のない場所および
腐食性ガスのない場所に設置してください。
爆発引火・故障の原因になります。



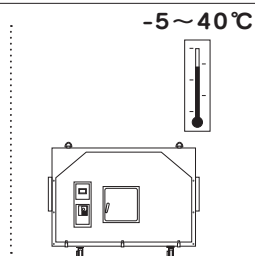
警告

爆発性の粉じんやガスの発生する場所または
発生するおそれのある場所には設置しないでください。
爆発や火災の原因になります。



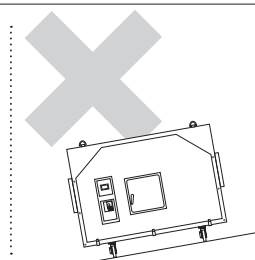
注意

周囲温度が $-5^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ で使用してください。
 -5°C 以下では故障・凍結のおそれがあります。
 40°C 以上および年平均 30°C 以上では故障の原因になります。



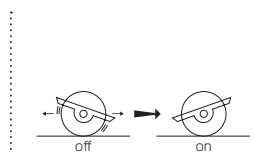
注意

水平な床に設置してください。
床が平らでないと異常振動・異音の原因になり、故障の原因になります。



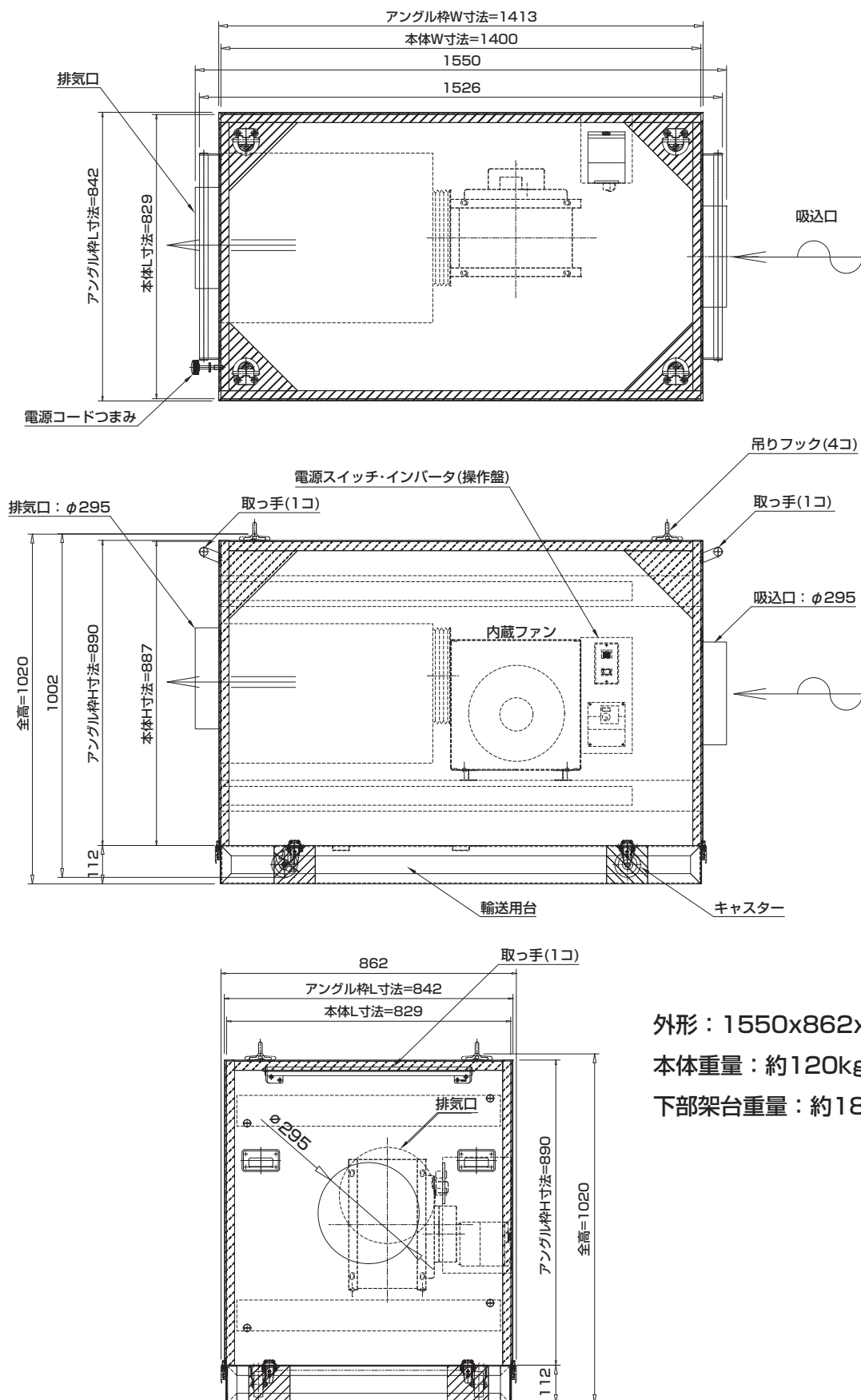
注意

運転中の本体のズレを防止するために
ストッパーをかけて下さい。



本体・名称と寸法

単位：mm



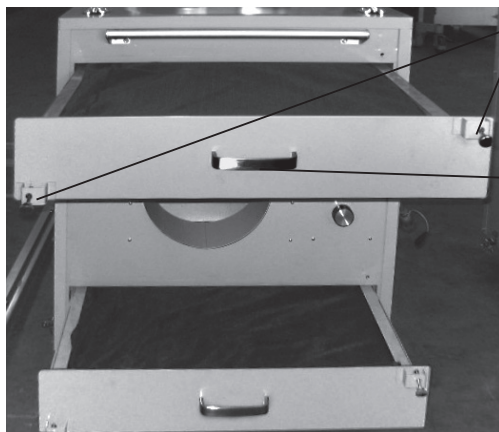
外形：1550x862x全高1020H

本体重量：約120kg

下部架台重量：約18kg

操作方法

1 活性炭(充填・交換)方法



① 活性炭充填BOX開閉ねじを開ける。



② 引き出しを引きBOXを引き抜く。
その際足元に落とさないようにご注意ください。



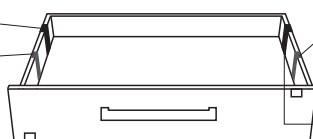
③ 活性炭の充填はBOXを完全に引き出して本体と分離した状態にて作業してください。

注意事項

■活性炭を【充填】する場合、BOX内を均等に活性炭が敷き詰められているようお願いします。隙間がありますと臭いが漏れるおそれがあります。

■充填BOXを引き出す際は、落下に気を付けて引き出して下さい。

赤色
黄色

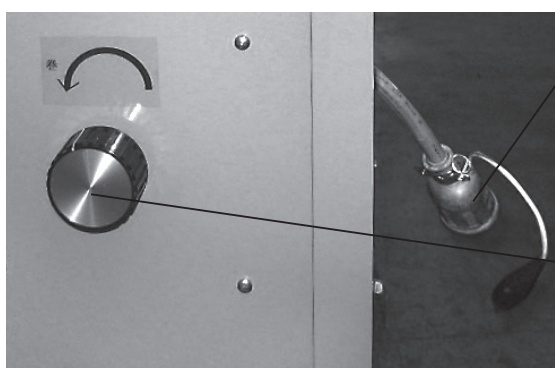


■黄色い目印以上に引き出す場合には、両サイドから（二名以上にて）支えながら引き出してください。

※BOXをそのまま引き出しますと、変形・破損する場合がございます。

■赤い目印以上に引き出す場合には、引き出しの均衡をとりながら落下しないように保持してください。

2 電源コードの引出・収納



① 電源コードを引き出す際コード部分をゆっくり引き出して下さい。強く引っ張ると断線の恐れがあります。



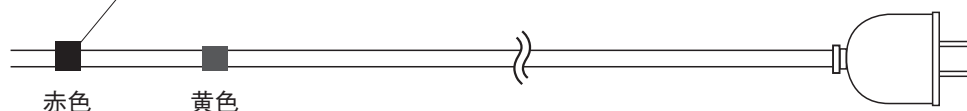
② 電源コードを収納する場合収納つまみを左回りに回転させ収納して下さい。

注意事項

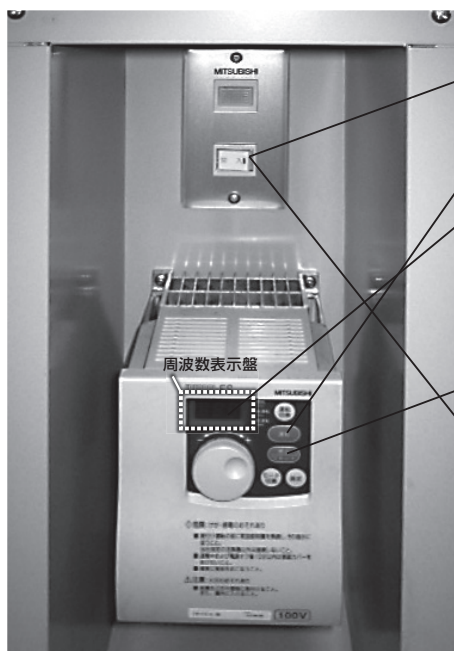
■濡れた手でコードを触らないようにして下さい（感電）（故障）の恐れがございます。

■電源コードを強く引きますと断線し故障の恐れがございます。

（最伸時には、電線上に赤い目印があります）



3 基本操作



〈ご使用する場合〉

- ① 100V電源を供給し本体電源スイッチをオンにする。
- ② 運転スイッチを押す。
- ③ 周波数表示盤が30.00Hz～60.00Hzを指していることを確認する。(下のダイヤルにて調整して下さい)

〈ご使用を終了する場合〉

- ① 停止スイッチを押す。
- ② 本体電源スイッチをオフにする。

注意 事項

周波数表示盤には22.00Hz～60.00Hzの範囲まで表示されますが、本機器は30.00Hz～60.00Hzの範囲内にてご使用下さい。

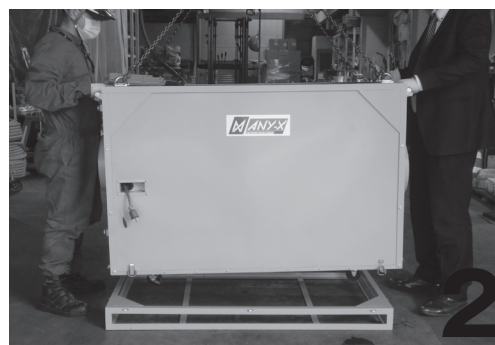
※範囲外での運転はトラブルの原因となります。

4 架台の取り外し方法

(撮影の為、今回はクレーンで吊っています)



架台と本体を繋ぐ金具をはずす。



数人で機体を水平に持ち上げる。



他1名が架台を引き出す。



最後まで引き出してから本体を降ろす。

注意 事項

架台部分を脱着する場合は、落下や手の挟込みに十分ご注意ください。

故障かなったと思ったら…

運転or作動
しない

一次電源の容量不足・電圧不足が考えられます

- 単独電源等により運転に十分な電源を供給して下さい。
- テスターにて電圧と電流値を計測し確認して下さい。

制御盤内のインバーターが30Hz～60Hzに設定されていない事が考えられます

- 周波数表示盤の下側の調整ツマミを回し、表示を30Hz～60Hzに設定して下さい。

本体電源スイッチがオフ状態である事が考えられます

- 本体電源スイッチをオン状態にさせてください。

風量が不足

インバーターの運転スイッチがオフ状態である事が考えられます

- インバーターの運転スイッチをオン状態にして、30Hz～60Hzに設定されているか確認してください。

制御盤内のインバーターがトリップしている事が考えられます

- 一旦電源コンセントを抜き、1分間程度冷却させてから、再度電源コンセントを接続して下さい。
- アルファベットのエラーメッセージが周波数表示盤に表示されている場合は、インバーターリセットボタンを押し、一旦インバーター停止スイッチを押し、再度電源を入れてください。

それでも
何度も停止
してしまう
場合

インバーターの不具合が考えられます

- 制御盤内のインバーターの周波数表示盤に表示されたエラーメッセージをお知らせ下さい。
※電源を一旦抜いてしまうとエラー表示が消えてしまいますので
ご注意下さい。
- エラーメッセージの種類毎の対応とします。

製造元 株式会社アクティオ EG環境部
〒134-0083
東京都江戸川区中葛西6-18-8 2F
TEL : 03-5674-1411 FAX:03-5675-6312